

エコノミークラス症候群

Q

妊婦さんはエコノミークラス症候群に注意！ というニュースを頻繁に目にします。その理由や注意点を詳しく教えてください

娘の妊娠がわかり、初孫を楽しみにしていた矢先の震災。たびたび「妊娠中はエコノミークラス症候群に要注意」というお知らせがあり、家族で心配しています。予防法など、わかりやすく説明してください。

A

妊娠中は血液の流れが滞りがちなため注意が必要です。血栓症はできる部位によって「血栓性静脈炎」と「深部静脈血栓症」に分けられます



教えてくれたのは
福田病院 理事長 福田 稠さん

大きくなるため下半身の血液が心臓に戻りにくくなります。そのため、妊娠中から産褥期（出産後6〜8週間）は、下肢に血栓がでやすい状態となります。

みを伴いますが、あまり心配はありません。

一方、②の深部静脈血栓症は、ときとして放置すると血栓が肺に移動して閉塞を起こし、命を失う危険性もあります。報道されている「エコノミークラス症候群」と同じ

腫れや痛みが片方だけに出現するのが特徴で、高齢の方や肥満、帝王切開後、家族に血栓症の病歴がある方などに多くみられることがわかっています。

「パリン」などの投与により血栓をできにくくする予防法や、できてしまった血栓を溶かす治療などが一般的です。車中など長時間同じ姿勢でないようにすることで、適度な水分補給、足や足指の

運動をするなど、普段から心がけてください。さらに帝王切開後は長くベッドに寝たままの状態を避け、なるべく早めに動いていただくよう指導しています。また、弾性ストッキングを着用するのも効果的です。

深部静脈血栓症による肺塞栓症（＝エコノミークラス症候群）は、生命の危機も

妊娠中は、分娩時に早く出血が止まるように生

理的に血が凝固しやすくなるっており、また子宮が

頻度が多いのは①

はありますが、このような事例がある点も忘れて

ママの「？」を募集

妊娠・出産・赤ちゃんに関する質問を募集中。産婦人科の医師に聞いてみたい内容、名前（匿名の場合はペンネームも）、年齢、住所、電話番号を書いて、〒860-8511 熊本リビング新聞社「プレまま」係

※すべてが採用されるわけではありません。応募者の個人情報は紙面製作のみ使用されます。